ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

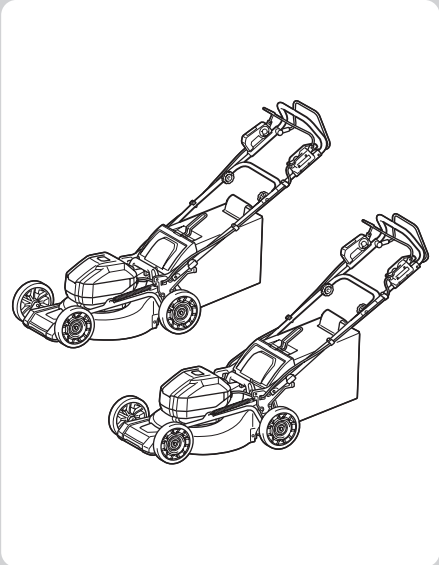
makita

# 取扱説明書

## 充電式芝刈機

480mmモデル MLM003J

530mmモデル MLM004J



このたびは**充電式芝刈機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

# もくじ

## はじめに


主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 3
IP 表示について（防じん・防水性能）…… 18
各部名称 …… 19
標準付属品の確認 …… 21
別販売品のご紹介 …… 22


## ご使用前の準備


組み立て …… 23
バッテリ（別販売品）の充電 …… 28
バッテリ／充電器の取り扱い …… 30
使用前に知っておいていただきたいこと …… 31


## 使い方


バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 33
本製品の操作 …… 36
・刈り込み高さの調整 …… 36
・スイッチの操作 …… 38
・駆動速度の調整 …… 41
・刈り込み方法 …… 42
・芝を捨てる目安 …… 44
・芝の捨て方 …… 45
・マルチングについて …… 46
・ディスチャージシュートについて …… 47
・リヤディスチャージについて …… 49
・ハンドルの高さ調整 …… 50
使用後の取り扱い …… 51
・運搬方法 …… 51
・本製品の保管 …… 52


## 保守／点検


お手入れ …… 54
消耗品の交換・補充 …… 55
故障かな？と思ったら …… 57
充電式芝刈機 保証書 …… 裏表紙

# はじめに

## 主要機能

| 主要機能＼モデル | | MLM003J | MLM004J |
|---|---|---|---|
| 電動機 | | DC ブラシレスモータ | |
| 使用可能バッテリ | | リチウムイオンバッテリ | |
| | | 22 ページの「別販売品のご紹介」を確認してください。 | |
| 電圧 | | 直流 57.6 V（64 V max）※ | |
| 回転数 | 標準モード | 3,200 $min^{-1}$（回転 / 分） | 2,800 $min^{-1}$（回転 / 分） |
| | ソフトノーロード | 2,500 / 3,200 $min^{-1}$（回転 / 分） | 2,300 / 2,800 $min^{-1}$（回転 / 分） |
| | 静音モード | 2,500 $min^{-1}$（回転 / 分） | 2,300 $min^{-1}$（回転 / 分） |
| 刈り込み高さ | | 20 ～ 100 mm（10 段階調整） | |
| 刈り込み幅 | | 480 mm | 534 mm |
| 走行速度 | | 1.5 - 6.5 km/h | |
| 防じん・防水保護等級 | | IPX4 | |

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※：64 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。

## 本製品の重量および寸法

MLM003J

| 装着バッテリ | 質量 | 本製品寸法<br>長さ×幅×高さ |
|---|---|---|
| BL64100 | 32 kg | 通常時：1,670-1,745 × 550 × 965-1,075 mm<br>収納時※：585 × 550 × 900 mm |

MLM004J

| 装着バッテリ | 質量 | 本製品寸法<br>長さ×幅×高さ |
|---|---|---|
| BL64100 | 33 kg | 通常時：1,740-1,810 × 595 × 970-1,080 mm<br>収納時※：580 × 595 × 930 mm |

※：集草カゴを除く

JPA002-65

# 安全上のご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

## 注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

**ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。**

**⚠警告**：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意**：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注**：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

# 充電式製品共通の安全上のご注意

## ⚠ 警告

### 作業環境

**1** 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。

**2** 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

**3** 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

**4** 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

**5** アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

### 電気に関する安全事項

**1** 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

**2** 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。

## ⚠ 警告

**3** 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。

- 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
- バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

**4** 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。

- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。

**5** 使用環境に適した延長コードを使用してください。

**6** USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。

- 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

## 作業者に関する安全事項

**1** 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

**2** 安全保護具を使用してください。

- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

## ⚠警告

**3** 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

**4** 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

**5** 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

**6** きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

**7** 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

**8** 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

## ⚠警告

### 充電工具の使用および手入れ

**1** 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

**2** スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

**3** 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

**4** 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

**5** 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

## ⚠警告

**6** 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

**7** 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
・取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

**8** 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

**9** 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

## バッテリに関する安全事項

**1** バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。

**2** バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

**3** マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

**4** バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。

## ⚠警告

**5** 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
- 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
- バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

**6** バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
- 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

**7** バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発火、破裂の恐れがあります。

**8** バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

**9** 分解・改造をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

**10** バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

**11** バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
- バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

**12** 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。

**13** 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
- 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

## ⚠警告

**14** 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

**15** バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

**16** 使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。

**17** バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

## 整備

**1** 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

## ⚠警告

## その他の安全事項

### 1 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

### 2 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

### 3 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

### 4 ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- 爆発や火災の恐れがあります。

### 5 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

## ⚠警告

**6** 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

**7** 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

**8** 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

**9** 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

**10** 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

**11** 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

## ⚠警告

**12** 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

・充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

| 太さ（導体公称断面積） | 長さの目安 |
|---|---|
| 2.0 $mm^2$ | 30 m |

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。

・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

JPB204-11

# 充電式芝刈機安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式芝刈機として、さらに次の注意事項を守ってください。

## ⚠警告

**1** 本製品を雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
・感電や本製品およびバッテリが故障する恐れがあります。

**2** 必ず長ズボン、運動靴などを着用してください。
・刃物に小石などが当たって飛散し、けがの恐れがあります。

**3** 人やペットのいるそばで使わないでください。また小さい子供には絶対に使わせないでください。
・事故の原因になります。

**4** 本製品を使用する前に、作業場所内にある小石、棒切れなどの障害物を除去してください。
・小石などが刃物に当たるとけがの恐れがあります。

**5** 刃物が回転している間は、刃物や切りくずの排出口には手足や顔などを近づけないでください。
・けがの恐れがあります。

**6** スイッチを切っても刃物はすぐ止まりません。本製品の持ち運び、刃物の点検やお手入れの際は、必ず刃物が止まっていることを確認し、本製品からバッテリを抜いてください。
・けがの恐れがあります。

**7** 集草ボックス(集草カゴ)をはずしたままでは使用しないでください。
・けがの恐れがあります。

**8** 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。

## ⚠警告

**9** 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

**10** 刃物にひび・欠けなどの異常があったときには、新しい刃物と交換してください。
・切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。

**11** 使用中は、本製品を確実に保持してください。
・確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。

**12** 芝刈作業以外（除草など）には使用しないでください。
・本製品に負荷が加わり、事故やけが、故障の恐れがあります。

**13** 刈り込みは走って行わないでください。
・転倒などの恐れがあります。

**14** 斜面では必ず足場を確保してください。

**15** 斜面の刈り込みは、斜面に対して横切るように行ってください。
・斜面に沿って刈り込みをすると、転倒などの恐れがあります。

**16** 斜面で本製品の方向転換をするときは、細心の注意を払ってください。
・転倒などの恐れがあります。

**17** 急な斜面での刈り込みは行わないでください。
・転倒などの恐れがあります。

**18** 本製品を手前に引くときは、細心の注意を払ってください。
・足を挟んで、転倒の恐れがあります。

**19** 芝以外の地面を横切って移動する場合はスイッチを切って刃物の回転を止めてください。
・けがの恐れがあります。

## ⚠警告

**20** スイッチを入れるときは、手足を刃物から十分に離してください。
・けがの恐れがあります。

**21** スイッチを入れるときは、本製品を傾けないでください。
・けがの恐れがあります。

**22** 集草ボックス（集草カゴ）に摩耗や劣化による損傷がないか、使用前に点検してください。
・芝と一緒に小石などが勢いよく集草ボックス（集草カゴ）に入るため、損傷しているとけがの恐れがあります。

**23** ロックオフボタンを押し込んだり、スイッチレバーを引き込んだ状態で固定しないでください。
・事故の原因になります。

**24** 本製品に付属している刃物は、本製品専用です。他の製品に取り付けて使用しないでください。
・事故や故障の原因になります。

**25** 刃物を扱うときは、必ず手袋を着用してください。
・けがの原因になります。

**26** 通気孔を刈った芝のくずなどでふさがないようにしてください。
・故障の原因になります。

**27** 子供や取り扱いに詳しくない人に本製品を使用させないでください。
・けがや事故の原因になります。

**28** 操作者や使用者には他の人や財産に発生する事故および危険性に対する責任が生じます。

**29** 裸足や足がむき出しになるサンダルなどをはいた状態で使用しないでください。
・けがの原因になります。

**30** 芝刈りは日中や照明のある十分明るい場所で行ってください。
・暗い場所で行うと事故やけがの原因になります。

## ⚠ 警告

**31** 本製品が作動している間は、本製品を持ち上げたり運んだりしないでください。
・けがや事故の原因になります。

**32** 本製品の保守・点検作業をするときは、保護メガネを着用してください。
・けがの原因になります。

**33** 足元が滑りやすい場所では使用しないでください。
・転倒してけがの原因になります。

## ⚠ 注意

**1** 刃物は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

**2** 使用しない場合は、必ず屋内に保管し、保管場所として次のような場所を避けてください。
・子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
・温度や湿度の急変する所
・湿気の多い所
・直射日光の当たる所
・揮発性物質の置いてある所
・事故の恐れがあります。

**3** 油および殺虫剤などの薬品が本製品に付いたままにしないでください。
・変色・変形・ワレなど、本製品が損傷する恐れがあります。

**4** 取り付けネジの点検
本製品を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。

# IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 4

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

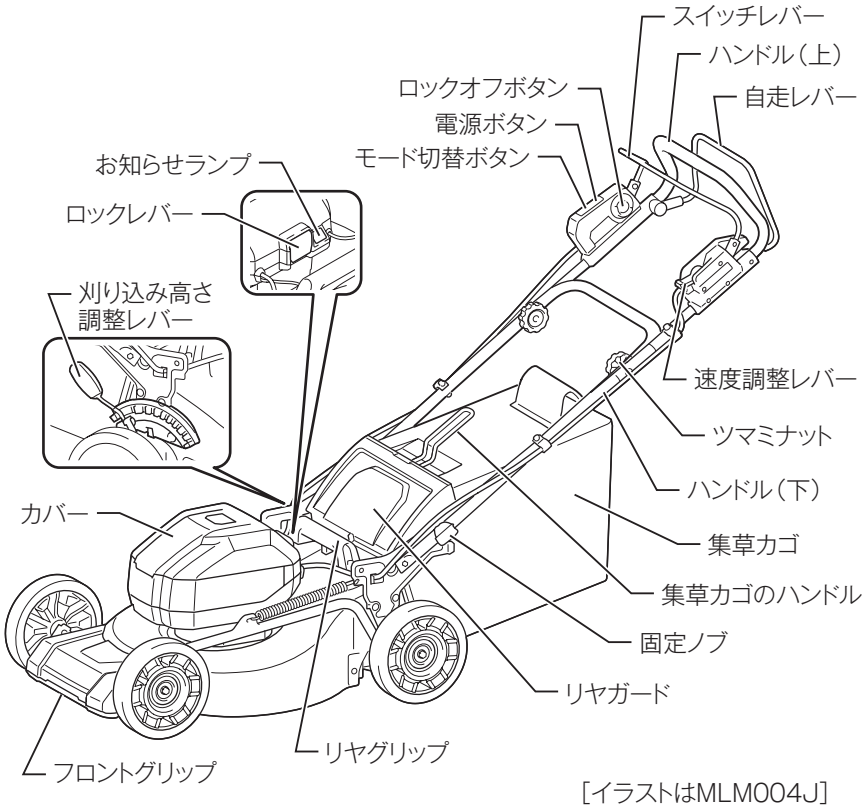
| 保護等級 | 内容 |
|---|---|
| 0 ～ 3 | 省略 |
| 4 | あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。 |
| 5 | あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。 |
| 6 | あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。 |
| 7 | 水に浸しても影響がないように保護されている。 |
| 8 | 潜水状態での使用に対して保護されている。 |

外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

| 保護等級 | 内容 |
|---|---|
| 0 ～ 3 | 省略 |
| 4 | 直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。<br>針金での危険箇所への接近に保護されている。 |
| 5 | 防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。 |
| 6 | 耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。 |
| X | 規定しない。 |

| | |
|---|---|
| 注 | ・IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。<br>・工具本体にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。 |

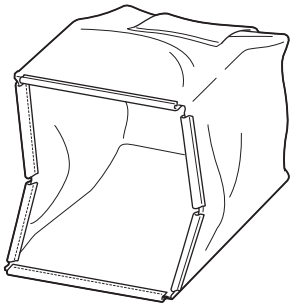
# 各部名称



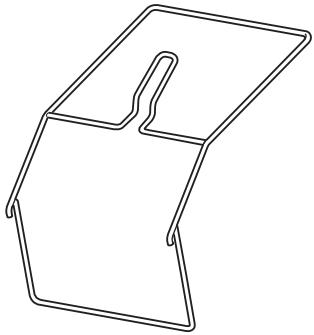

［イラストはMLM004J］

# 梱包部品の確認

・集草カゴ



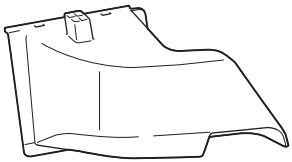
・フレーム



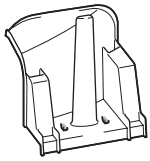
・ボルト M8 × 50(2 本)

・ツマミナット(2 個)

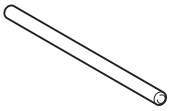
・ディスチャージシュート



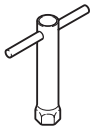
・マルチングプラグ
本製品に取り付けられています。



・ロッド（芝刈刃交換用）



・ボックスレンチ 17



# 標準付属品の確認

| モデル<br>標準付属品 | MLM003JZ<br>MLM004JZ |
|---|---|
| バッテリ | × |
| 充電器 | × |
| マルチングプラグ | ○ |
| ディスチャージシュート | ○ |
| ロッド | ○ |
| ボックスレンチ 17 | ○ |

# 別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

| 品目 | 品名 | 部品番号 |
|---|---|---|
| 使用可能バッテリ（容量） | BL6440（4.0 Ah） | A-75362 |
| | BL64100（Typ.10 Ah ※） | A-74952 |
| 対応充電器 | DC64WA（充電器） | JPADC64WA |

※記載の容量は標準的な数値です。

・ 芝刈刃（MLM003J 用）
部品番号：A-75465

・ 芝刈刃（MLM004J 用）
部品番号：A-75471

## 組み立て

**⚠ 警告**

付属品の取り付け、取りはずしの際は、バッテリを抜いてください。
・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

**⚠ 注意**

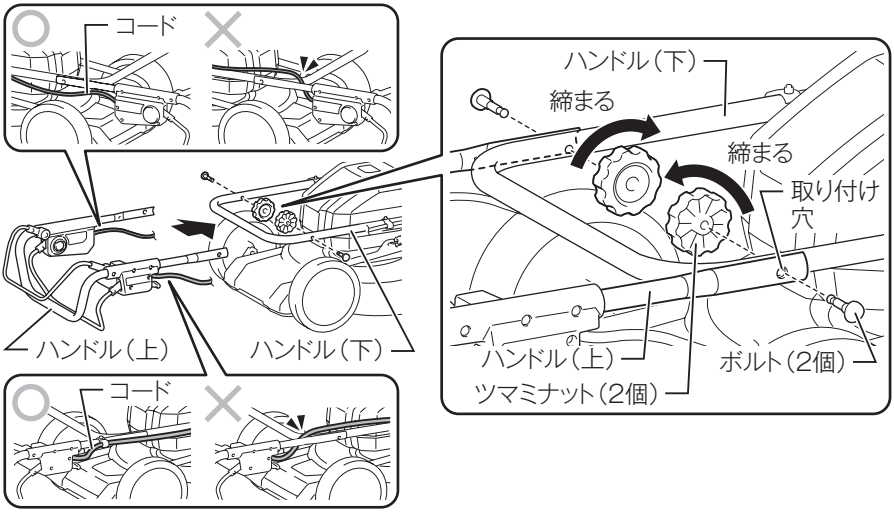
ハンドルを組み立てる際は、コードがかみ込まないように注意してください。

ボルトは左右とも確実に締めてください。
・ しっかり締めないと操作中にゆるんで事故の原因になります。

## ハンドルの組み立て方

**1.** ハンドル（上）とハンドル（下）の取り付け穴の位置を合わせます。

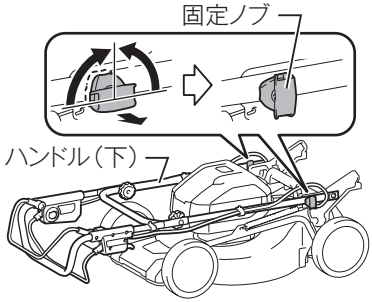
**2.** 外側からボルト M8 × 50 を挿し込み、内側からツマミナットで締め付けます（左右ともに行う）。
・ コードがかみ込まれてないか確認してください。




| | |
|---|---|
| 注 | ・ハンドル（上）を落とさないようしっかりと保持して作業を行ってください。 |

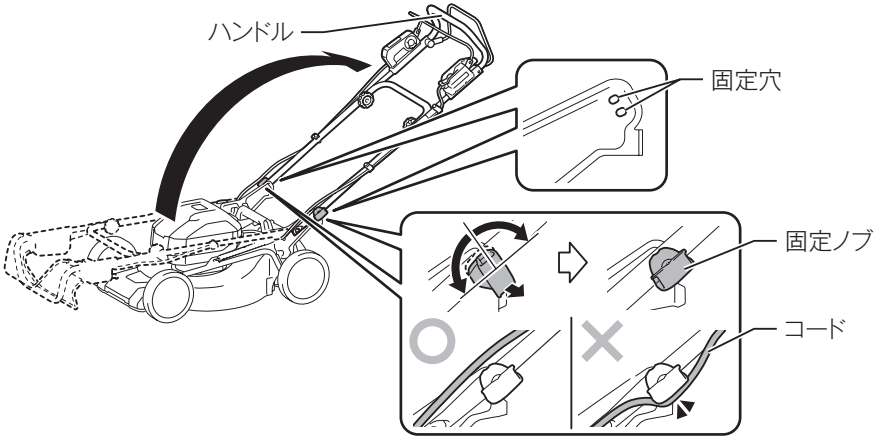
# ハンドルを起こす

**1.** ハンドル（下）の左右の固定ノブを引きながら 90 ° 回転させ、ロックを解除します。




**2.** ハンドル全体を起こし、固定穴を合わせた後、左右の固定ノブを 90 ° 回転させ、ハンドルを固定します。

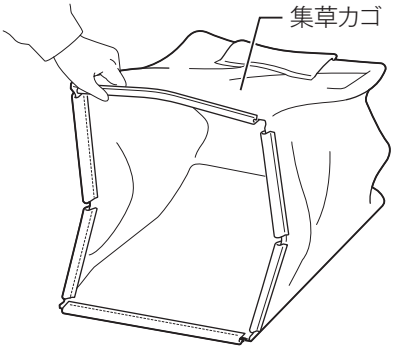
・コードがかみ込まれてないか確認してください。
・固定ノブがしっかりと固定されていることを確認してください。




| | |
|---|---|
| 注 | ・固定ノブを引くときにハンドルを支えると、固定ノブのロックを簡単に解除できます。 |

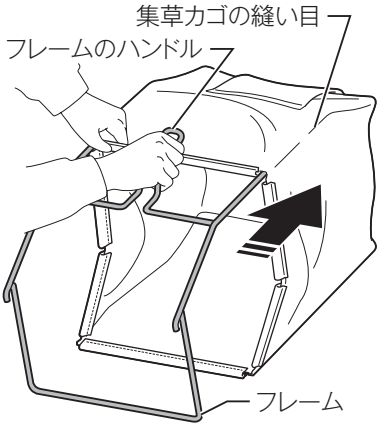
# 集草カゴの組み立て方

**1.** 集草カゴの上部を持って形を整えます。

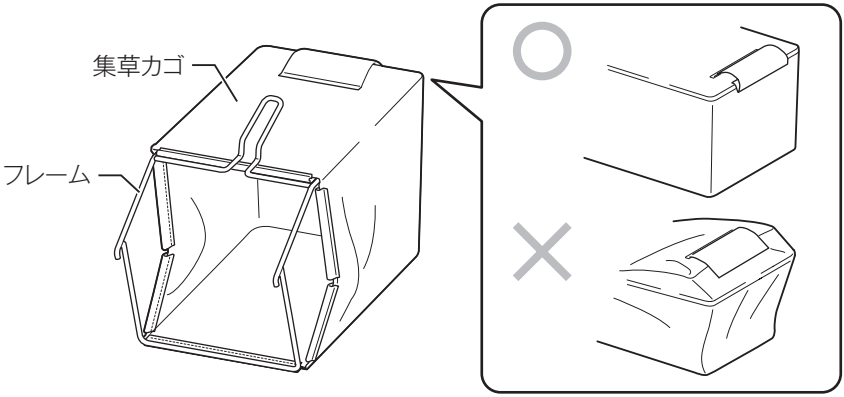



**2.** フレームのハンドルを持ち、フレームを集草カゴの縫い目に合わせて入れます。

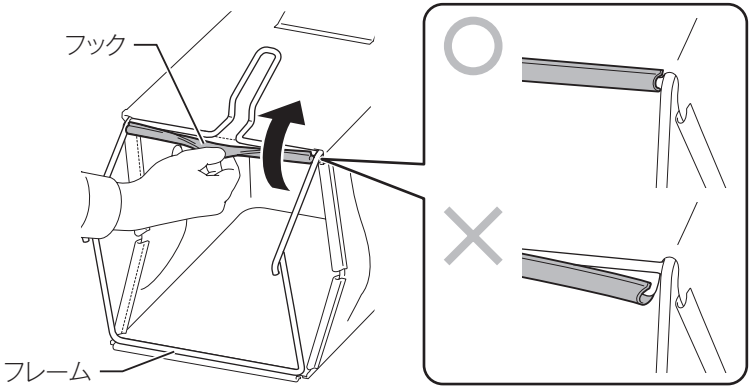
・フレームのハンドルは集草カゴの上部になるように、フレームを集草カゴに入れてください。



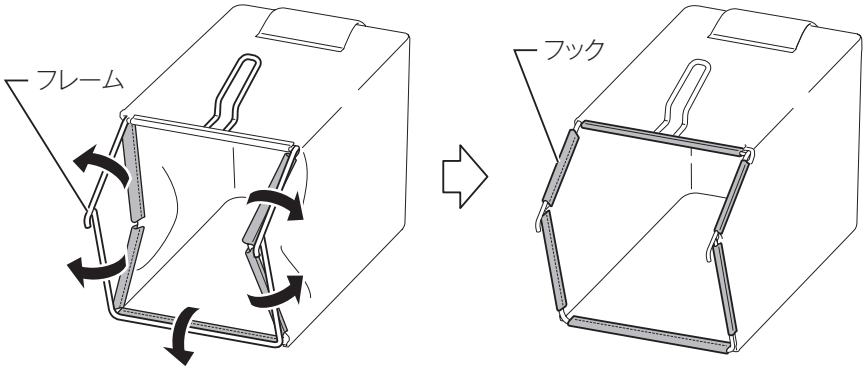

**3.** 集草カゴにたるみがでないようにフレームを奥まで押し込みます。



**4.** 集草カゴへ入れたフレームを上部からフックで固定します。
フックはフレームの内側からはめ込んでください。




**5.** フレームの左右と下部をフックで固定します。



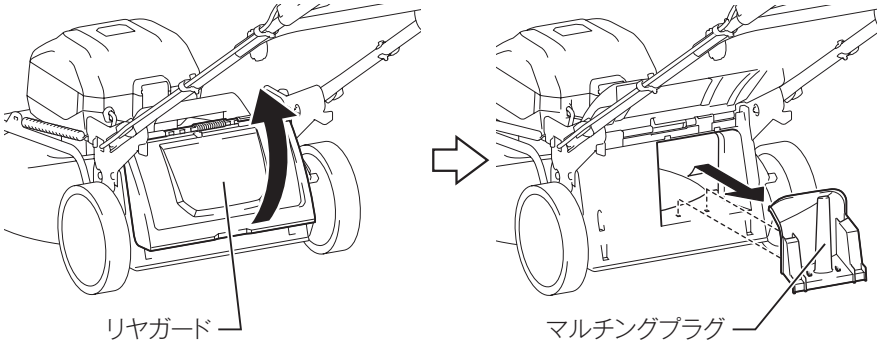
# 集草カゴの取り付け方・取りはずし方

## ■ 取り付け方

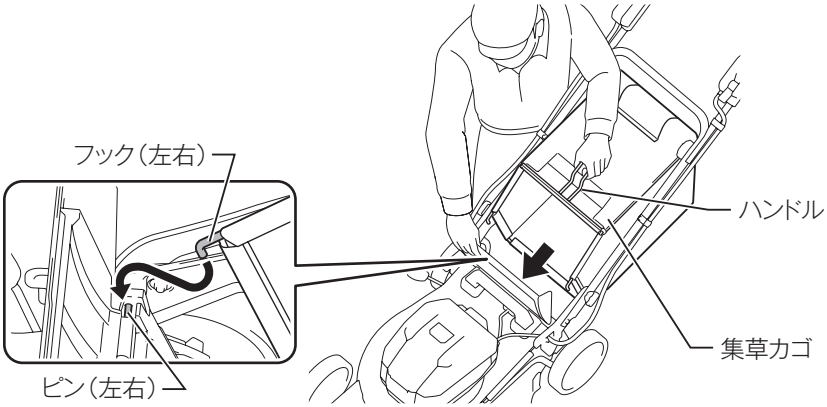
**1.** バッテリを取りはずします。

・バッテリの取りはずし方は 35 ページ「取りはずし方」を参照してください。

**2.** リヤガードを持ち上げたまま、マルチングプラグを少し持ち上げ、取りはずします。




**3.** リヤガードを持ち上げたまま、集草カゴのハンドルを持ち、左右のフックをピンにそれぞれ引っかけて取り付けます。



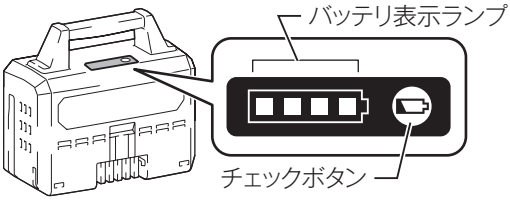

## ■ 取りはずし方

・ リヤガードを持ち上げたまま、集草カゴのハンドルを持って、取りはずします。

# バッテリ（別販売品）の充電

## バッテリ残容量表示

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。




| バッテリ表示ランプ<br>:点灯　:点滅　:消灯 | バッテリ残容量 |
|---|---|
| | 75 % - 100 % |
| | 50 % - 75 % |
| | 25 % - 50 % |
| | 0 % - 25 % |
| | 充電してください。 |
| | バッテリの異常です。 |

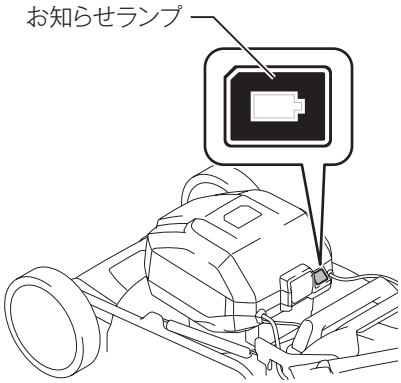
| | |
|---|---|
| 注 | ・表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。<br>・バッテリ保護機能が働いた際は、左端のバッテリ表示ランプが点滅します。 |

## バッテリの充電方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

# お知らせランプについて

・ バッテリの残容量が少なくなると、お知らせランプが点滅します。さらに使用すると、本製品は自動停止し、お知らせランプが点灯します。お知らせランプが点灯した場合は、バッテリをはずして充電してください。




| お知らせランプ | バッテリ残容量 |
|---|---|
| 消灯 | 20 % - 100 % |
| 赤色点滅 | 20 %以下 |
| 赤色点灯 | 0 % |

| | |
|---|---|
| 注 | ・バッテリ表示ランプと本製品のお知らせランプでバッテリ残容量表示が異なる場合があります。 |

# バッテリ／充電器の取り扱い

## バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やホコリから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

## バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

## バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

## 充電器の点検・修理・保管について

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

# 使用前に知っておいていただきたいこと

## 本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中に下記状態になるとモータが自動停止します。これは保護機能によるものです。

| 状態 | 対応 | 電源ランプ |
|---|---|---|
| 本製品またはバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。 | 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、充電器で充電して、バッテリを冷却してください。 | 電源ランプ:赤点滅 |
| | バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。 | 電源ランプ:赤点灯 |
| バッテリの容量が少なくなると、モータが自動停止します。 | 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電するか、充電されたバッテリに交換してください。 | 電源ランプ:赤点滅 |
| 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 | いったん電源を切り、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。 | 電源ランプ:緑点滅 |
| 自走レバーまたはスイッチレバーを握り込んだ状態で電源を入れると、電源ランプが緑色に点滅します。 | 両方のレバーを放すと、点滅が解除されます。 | |

・ 電源ランプの点滅・点灯のタイミングは、周囲の温度やバッテリの状態によって変化します。
・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（57 ページ参照）に従って点検してください。

# 各種機能

## ■ 定回転制御

・ 電子制御で、回転速度を一定に保ちます。負荷がかかっても回転速度が一定であるため、きれいな仕上がりが得られます。

## ■ 電気ブレーキ機能

・ スイッチレバーを放すと、電気的に回転を止めます。ただし、バッテリの残容量が無くなった場合、スイッチを入れたままバッテリを抜いた場合や過負荷保護などの保護機能が作動した場合は、ブレーキ機能は作動しません。
また、バッテリの残容量がある場合で、スイッチレバーを放しても本製品がすぐに停止しない状態が続く場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修正をお申し付けください。

## バッテリの取り付け／取りはずし方法

### ⚠ 警告

バッテリは確実に本製品に差し込んでください。バッテリを差し込んだ際に“カチッ”と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリ差し込み口に“カチッ”と音がするまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

### ⚠ 注意

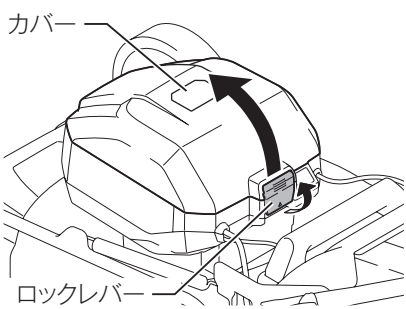
カバーを開けた状態で使用しないでください。

・ ホコリや水などが入り、本製品およびバッテリが故障する恐れがあります。

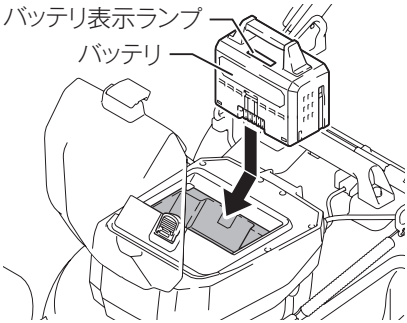
バッテリを交換するときは、カバーを保持して行ってください。

## 取り付け方

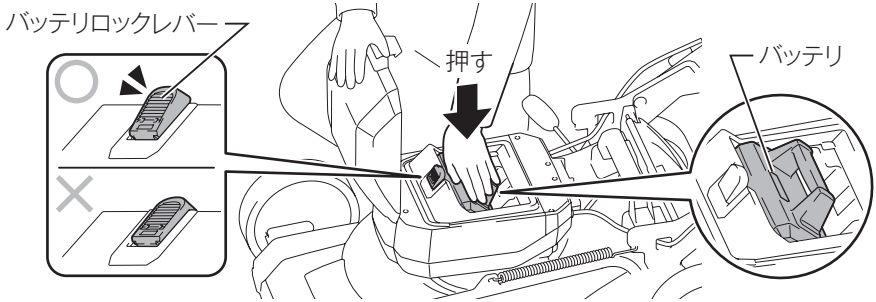
**1.** ロックレバーを引き、カバーを開きます。



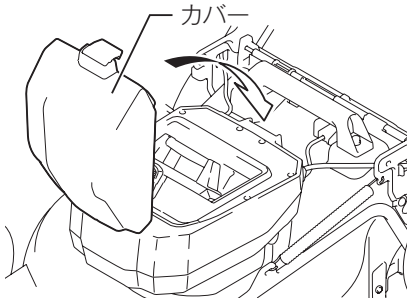

**2.** バッテリ表示ランプを前方に向けて、バッテリを差し込みます。



**3.** バッテリを上から押し込み、バッテリロックレバーがカチッと音がするまで本製品に押し込みます。

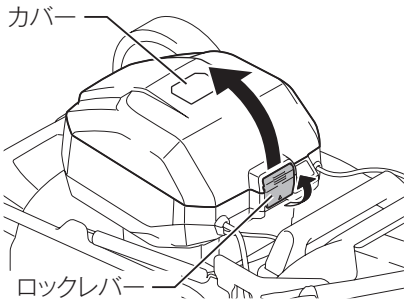



**4.** カバーを閉じます。ロックレバーがカチッと音がして、ロックされるまでカバーを押します。

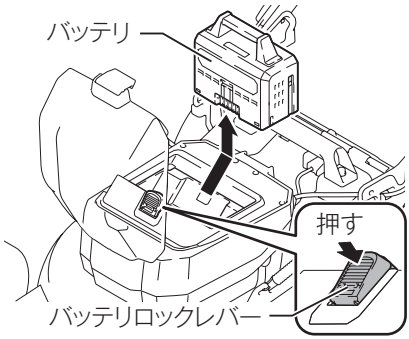


# 取りはずし方

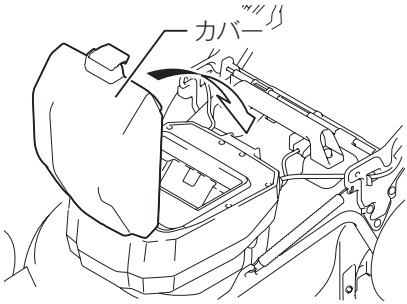
**1.** ロックレバーを引き、カバーを開けます。




**2.** バッテリロックレバーを押して、バッテリを本製品から図のような向きで引き出します。




**3.** カバーを閉じます。ロックレバーがカチッと音がして、ロックされるまでカバーを押してください。



# 本製品の操作

## 刈り込み高さの調整

### ⚠ 警告

**刈り込み高さを調整する際は、バッテリを抜いてください。**
・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

**刈り込み高さの調整後は、刈り込み高さ調整レバーが溝にしっかりはまっていることを確認してください。**

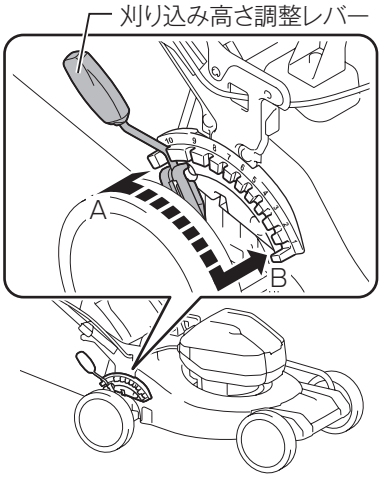
### ⚠ 注意

**刈り込み高さを調整する際は、本製品の下に手や足を入れないように注意してください。**

**芝刈刃が傷つくのを防ぐため、作業時以外は刈り込み高さ調整レバーを“10”に合わせてください。**

刈り込み高さは､20 ～ 100 mm の範囲(10 段階)で調整することができます。

・ 刈り込み高さ調整レバーを A 側に引っ張り、そのまま設定する目盛りに合うようにレバーを動かし B 側に押し込みロックします。
・ 目立たない場所で試し刈りをし、お好みの高さに調整してください。




・ 本製品の番号とおおよその刈り込み高さは次のようになります。

| 番号 | 刈り込み高さ |
|---|---|
| 1 | 20 mm |
| 2 | 26 mm |
| 3 | 32 mm |
| 4 | 39 mm |
| 5 | 47 mm |
| 6 | 55 mm |
| 7 | 63 mm |
| 8 | 74 mm |
| 9 | 86 mm |
| 10 | 100 mm |

| | |
|---|---|
| 注 | ・ハンドル（下）を手で押さえ、本製品が動かないようにして刈り込み高さ調整レバーを操作してください。<br> <br> |

# スイッチの操作

## ⚠警告

電源を入れる際は、必ずロックオフボタンとスイッチレバーおよび自走レバーから手を放してください。
・ 本製品が急に作動するなど、事故の原因になります。

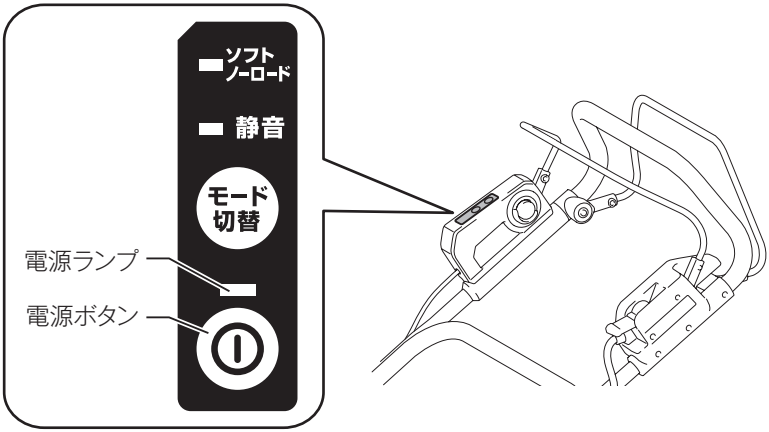
本製品を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

## ⚠注意

ロックオフボタンを押さずにスイッチレバーを引いても始動しません。

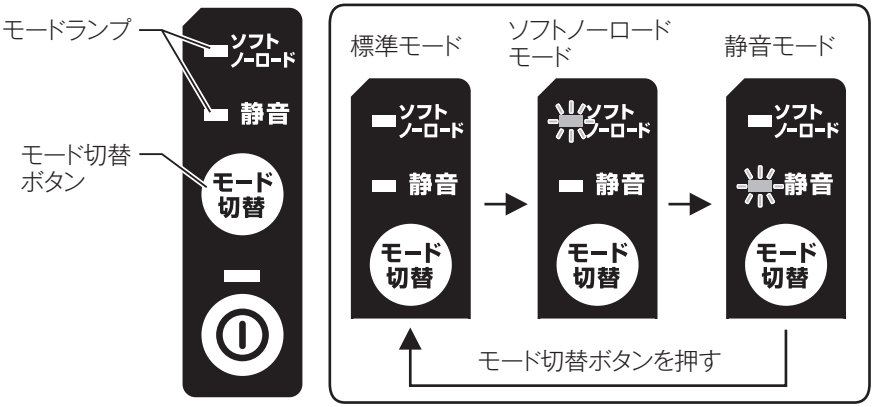
### 1. 電源を入れる

・ 電源ボタンを押すと電源が入り、電源ランプが緑に点灯します。
・ 再び電源ボタンを押すと電源が切れ、電源ランプが消灯します。



## 2. モードを選択します。

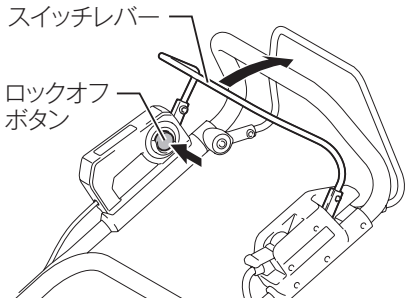
・モードの選択は、電源が入っている状態で行います。
・モード切替ボタンを押すとモードを変えることができます。



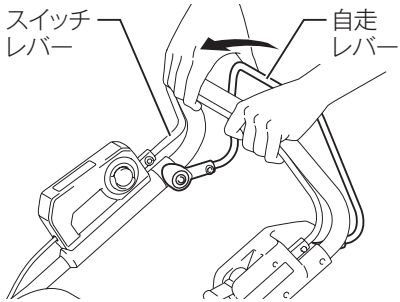

| モード | 特長 | 回転数 （回転 / 分） | |
|---|---|---|---|
| | | MLM003J | MLM004J |
| 標準モード | 一定の回転数で運転します。 | 3,200 $min^{-1}$ | 2,800 $min^{-1}$ |
| ソフトノーロードモード | 負荷の大きさに応じて、回転数が自動で切り替わります。 | 低負荷時：2,500 $min^{-1}$<br>高負荷時：3,200 $min^{-1}$ | 低負荷時：2,300 $min^{-1}$<br>高負荷時：2,800 $min^{-1}$ |
| 静音モード | 運転時の作動音とバッテリの消費を抑えます。 | 2,500 $min^{-1}$ | 2,300 $min^{-1}$ |

## 3. スイッチを入れます。

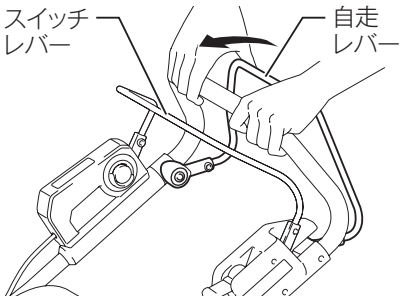
・スイッチはロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。




・スイッチレバーを握ったまま、さらに自走レバーを握り込むと、後輪が駆動し、芝を刈りながら自走します。




・スイッチレバーを握らずに、自走レバーだけを握り込むと、芝を刈らずに自走のみします。

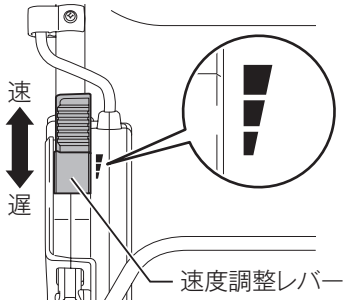



| | |
|---|---|
| 注 | ・スイッチレバーを放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。<br>・本製品は、電源を入れた後に一定時間操作しないと自動的に電源が切れる機能を備えています。 |

# 駆動速度の調整

速度調整レバーで駆動速度を調整することができます。

・ 速度調整レバーを手前に動かすと速度が遅くなり、奥に動かすと速度が速くなります。



# 刈り込み方法

## ⚠ 警告

あらかじめ小石、棒切れなどを取り除いてください。また、雑草も事前に取り除いてください。

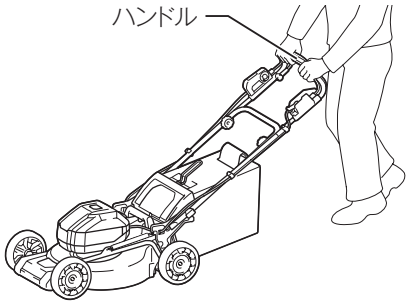
本製品内につまった芝や異物を取り除く場合は、バッテリを抜き、手袋を着用してください。

リヤガードが損傷して刃物が見えるような状態で使用しないでください。
・けがの恐れがあります。

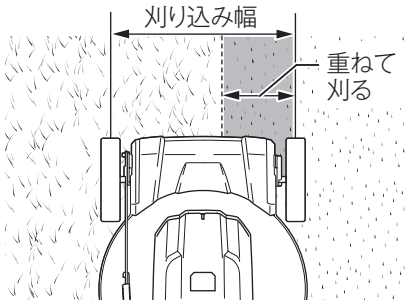
## ⚠ 注意

一度にたくさんの芝を刈ろうとすると負荷が大きくモータが始動しないときがあります。そのときは、駆動速度を遅くするか、刈り込み高さを高くして再度始動させてください。

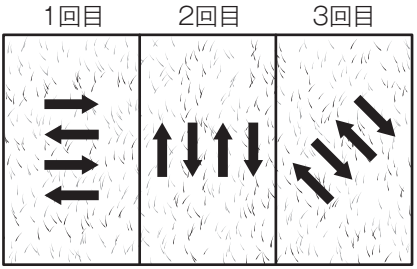
・ハンドルを両手でしっかり持って作業してください。
・10 秒間に 7 ～ 14 m 進むのが、刈り込みの速度の目安です。




・前輪の中央の幅が刈り込み幅の目安です。一度刈った部分を少し重ねて刈ると、ムラなく刈ることができます。



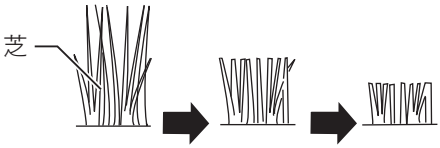
・ 刈り込みの方向を変えて刈ると、芝目が一定方向になるのを防ぐことができます。右図のように毎回方向を変えて刈り込みを行うときれいになります。
・ 定期的に集草カゴ内の刈った芝のたまり具合を確認して、いっぱいになる前に捨ててください。




| 注 | ・集草カゴ内がいっぱいのまま作業すると芝刈刃がスムーズに回転しなくなりモータに負担がかかり、故障の原因になります。 |
|---|---|

## ■ 長い芝の刈り方

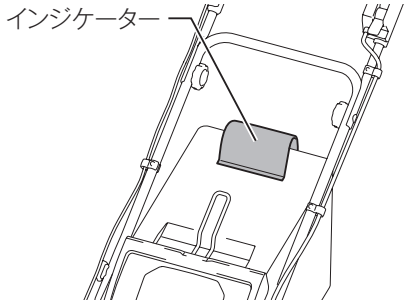
・ 長い芝は一度に短く刈らず日をあけて徐々に刈り込み高さを低くして短く刈りそろえてください。



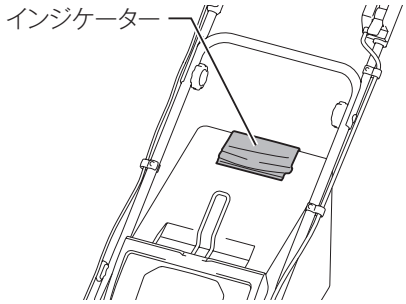

| 注 | ・長い芝をいきなり低い刈り込み高さで刈ると、芝が枯れたり本製品内に芝がつまることがあります。 |
|---|---|

# 芝を捨てる目安

・ 集草カゴの芝を捨てるタイミングはインジケーターの動きで判断します。芝刈刃の回転による風によってインジケーターがなびくときは、集草カゴ内に余裕があります。




・ 集草カゴが満杯に近いときは、インジケーターは動きません。このときはすぐに本製品を停止し、集草カゴの芝を捨ててください。




| | |
|---|---|
| 注 | ・インジケーターはおおよその目安です。集草カゴ内部の状態によっては、インジケーターが正しく機能しないこともあります。 |

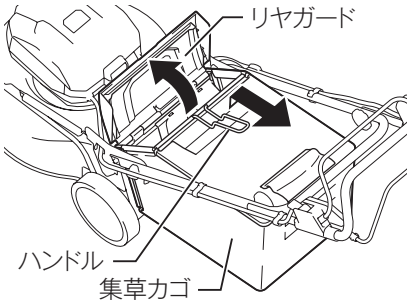
# 芝の捨て方

## ⚠ 警告

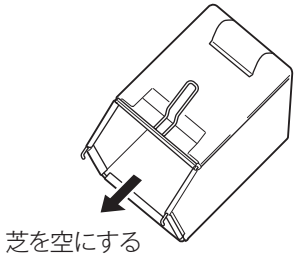
芝を捨てる際は、バッテリを抜いてください。
・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

**1.** スイッチレバーおよび自走レバーから手を放します。

**2.** リヤガードを開き、集草カゴのハンドルを持って取りはずします。




**3.** 集草カゴの中を空にします。




| 注 | ・集草カゴが劣化して穴が開くなど、傷んでいる場合には、新しい集草カゴに交換してください。 |
|---|---|

# マルチングについて

**⚠ 警告**

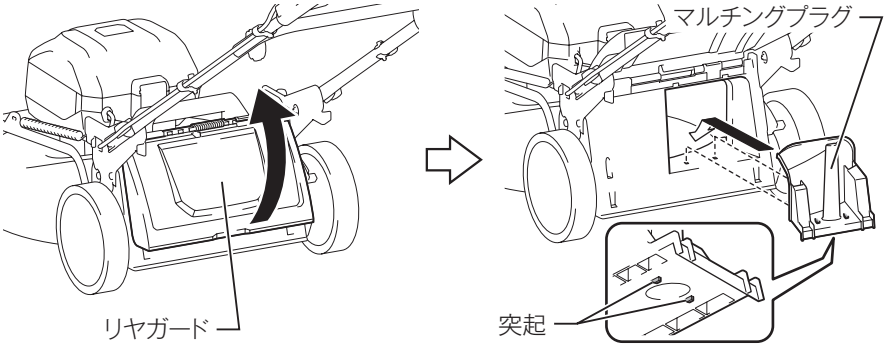
**付属品の取り付け、取りはずしの際は、バッテリを抜いてください。**
・本製品が作動し、けがの原因になります。

・マルチングプラグを使用すると、刈り取った芝を細かく砕き、芝の根元に散布してそのまま肥料として再利用できます。
・マルチングプラグが本製品に取り付けてある場合は、マルチングプラグを取りはずさないでください。

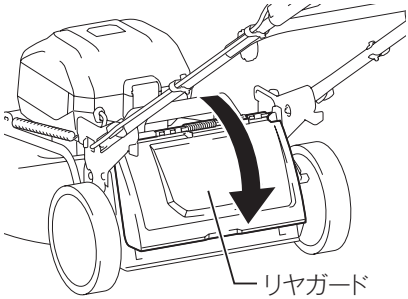
## ■ 取り付け方

**1.** バッテリを取りはずします。
集草カゴが取り付けてある場合は、集草カゴを取りはずします。
・バッテリの取りはずし方は 35 ページを、集草カゴの取りはずし方は 27 ページを参照してください。

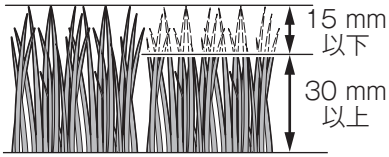
**2.** リヤガードを持ち上げたまま、マルチングプラグ下部の突起を本製品の穴に合わせ取り付けます。




**3.** リヤガードを閉じます。



| | |
|---|---|
| 注 | ・集草カゴは取り付けないでください。<br>・マルチングプラグを使用するときは、刈り込み後の芝の全長が 30 mm 以上であり、刈り込み長さが 15 mm 以下であることを確認してください。 |




# ディスチャージシュートについて

**⚠ 警告**

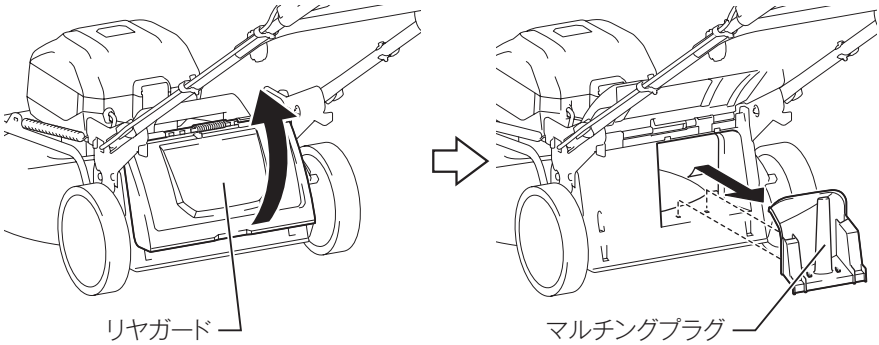
**付属品の取り付け、取りはずしの際は、バッテリを抜いてください。**
・本製品が作動し、けがの原因になります。

・ディスチャージシュートを使用すると、刈り取った芝を直接、本製品の右後方へ排出できます。

## ■ 取り付け方

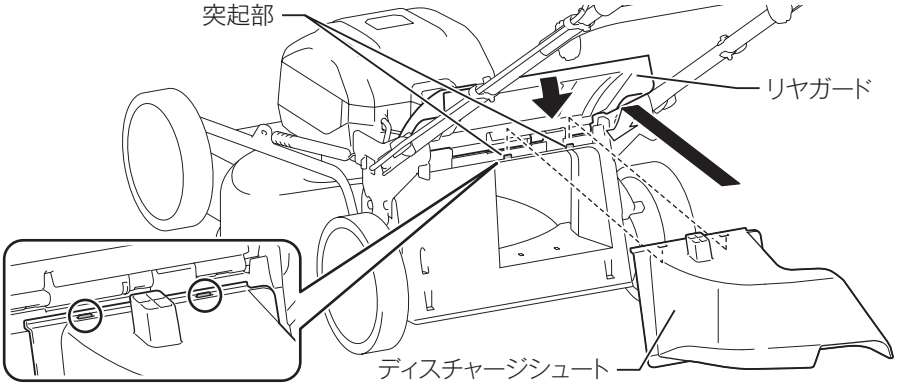
**1.** **バッテリを取りはずします。**
**集草カゴが取り付けてある場合は、集草カゴを取りはずします。**
・バッテリの取りはずし方は 35 ページを、集草カゴの取りはずし方は 27 ページを参照してください。

**2.** **リヤガードを持ち上げたまま、マルチングプラグを少し持ち上げ、取りはずします。**
・既にマルチングプラグが本製品から取りはずしてある場合は、次の手順に進んでください。



**3.** リヤガードを持ち上げた状態で、ディスチャージシュートの穴（2 か所）を本製品の突起部（2 か所）に合わせ取り付けます。

**4.** リヤガードをさげます。



# リヤディスチャージについて

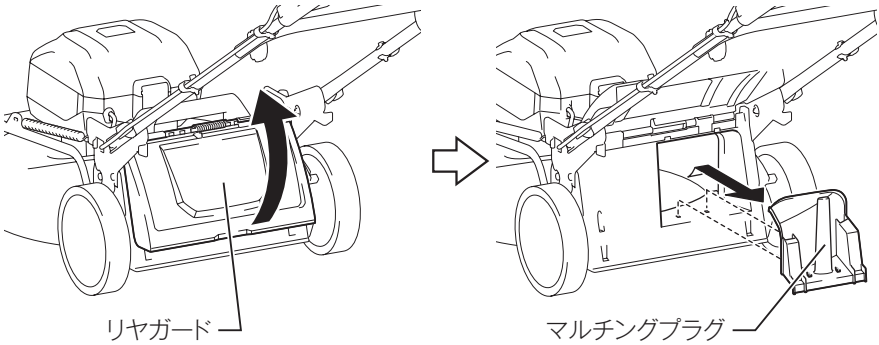
## ⚠ 警告

**付属品の取り付け、取りはずしの際は、バッテリを抜いてください。**
・本製品が作動し、けがの原因になります。

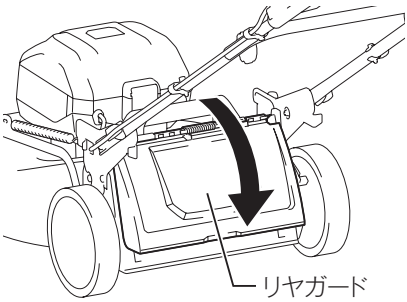
・リヤディスチャージを使うと、刈った芝を直接、リヤガードの下部から排出することができます。

**1.** **バッテリを取りはずします。**
**集草カゴが取り付けてある場合は、集草カゴを取りはずします。**
・バッテリの取りはずし方は 35 ページを、集草カゴの取りはずし方は 27 ページを参照してください。

**2.** **リヤガードを持ち上げたまま、マルチングプラグを少し持ち上げ、取りはずします。**
・既にマルチングプラグが本製品から取りはずしてある場合は、次の手順に進んでください。




**3.** **リヤガードを閉じます。**



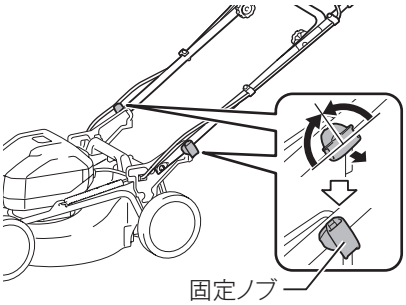
# ハンドルの高さ調整

## ⚠ 注意

**固定ノブのロックを解除する前に、ハンドルをしっかり保持してください。**
・ハンドルが落下し、けがの原因になります。

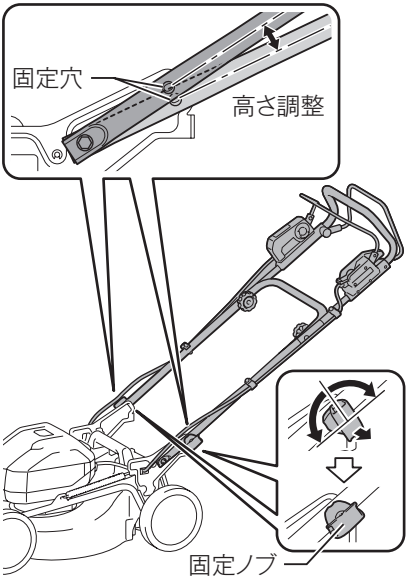
・ハンドルの高さは２段階に調整できます。

**1.** ハンドル（下）左右の固定ノブを引きながら 90 °回転させ、ロックを解除します。




**2.** ハンドルの高さを調整して、固定穴の位置を合わせてから、左右の固定ノブを 90 °回転させ、ハンドルを固定します。

・固定ノブがしっかりと固定されていることを確認してください。




| 注 | ・ハンドルを手で保持すると、固定ノブを引くときにロックを簡単に解除できます。 |
|---|---|

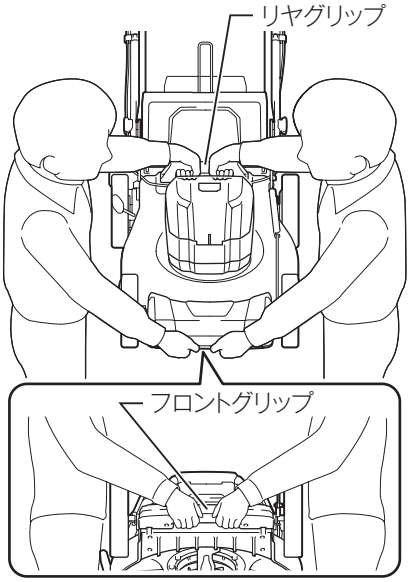
# 使用後の取り扱い

## 運搬方法

**⚠ 警告**

**運搬時は、バッテリを抜いてください。**
・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

・ 図のように、リヤグリップとフロントグリップを２人で持って、本製品を運んでください。



# 本製品の保管

## ⚠ 警告

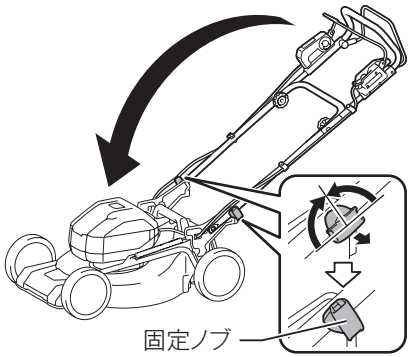
**保管時は、必ず電源を切り、バッテリを抜いてください。**
・ 本製品が作動し、けがの原因になります。
・ 本製品は屋内の鍵のかかる涼しく乾いた場所に保管してください。
・ 本製品を 40 ℃以上になる場所に保管しないでください。

**本製品を立てた状態で保管するときは、平らで安定した場所に置いてください。不安定な場所に置くと、転倒してけがの原因となることがあります。**

**1.** バッテリと集草カゴを取りはずします。

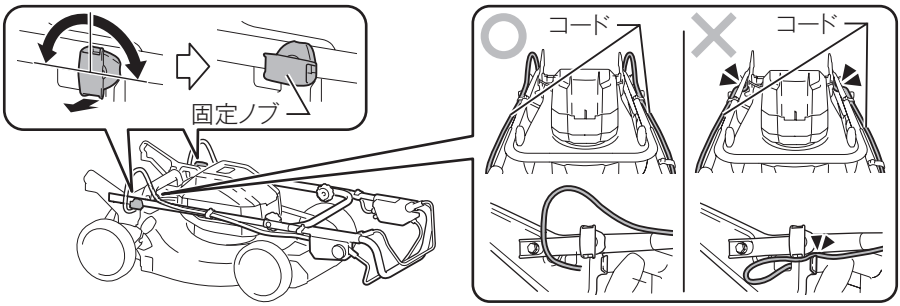
・ バッテリの取りはずし方は 35 ページを、集草カゴの取りはずし方は 27 ページを参照してください。

**2.** ハンドル（下）左右の固定ノブを引きながら 90 ° 回転させ、ロックを解除し、ハンドル全体を倒します。

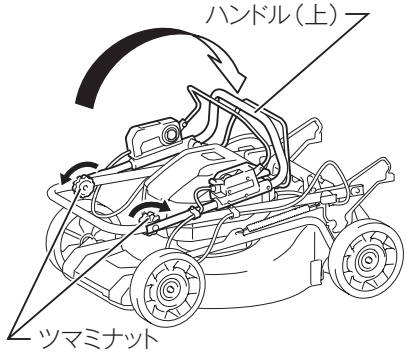



**3.** 左右の固定ノブを 90 ° 回します。

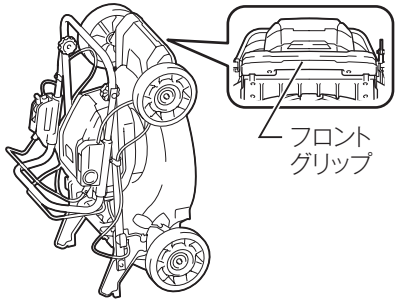
・ コードがかみ込まれてないか確認してください。
・ 固定ノブがしっかりと固定されていることを確認してください。



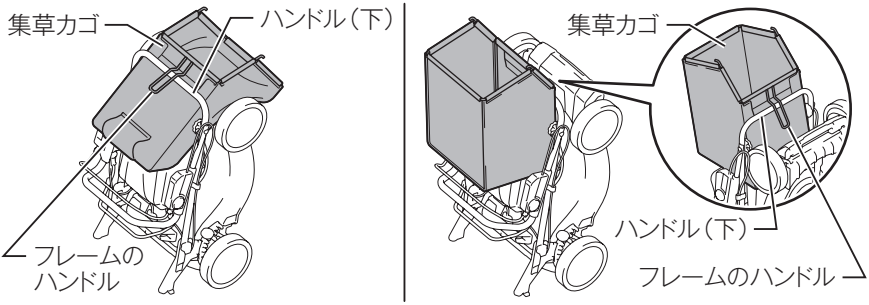
**4.** 左右のツマミナットをゆるめ、図のようにハンドル（上）を折り込みます。




**5.** フロントグリップを持って、立てます。




**6.** 集草カゴのフレームのハンドルを、図のようにハンドル（下）に引っかけます。




| | |
|---|---|
| 注 | ・本製品を立てた状態で保管するときは、本製品とハンドルを持ってください。<br>・ハンドルを折りたたむときは、コードを挟まないように注意してください。 |

## お手入れ

**⚠ 警告**

保守、点検の際は、必ずバッテリを抜いてください。
・ バッテリを取り付けたまま行うと、事故の原因になります。

保守、点検の際は、必ず保護メガネと手袋を装着してください。

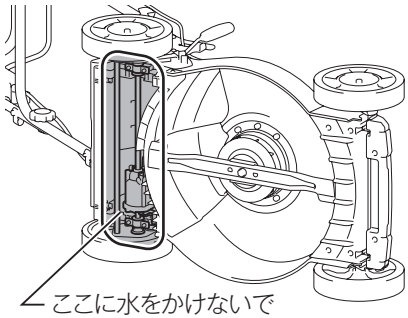
## 本製品のお手入れ

・ 乾いた布や薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

**1.** バッテリを取りはずして、カバーを閉じます。
・ バッテリの取りはずし方は 35 ページを参照してください。

**2.** 本製品を刈り込み高さ調整レバーが上になるように倒し、底にたまった芝を取り除きます。

**3.** 本製品の下部の芝刈刃とその周辺に水をかけて洗います。




**4.** すべてのナット、ボルト、ネジ、留め具類が、しっかり締め付けられていることを確認します。

**5.** 可動部品の損傷、破損、損耗を調べます。損傷もしくは欠損している部品は、修理もしくは交換が必要です。

**6.** 子供の手の届かない安全な場所に保管します。

| | |
|---|---|
| 注 | ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。<br>・ イラストで示された場所やモータユニットに水をかけると、故障の原因になります。<br>・ 本製品を高圧洗浄機で洗わないでください。 |

# 消耗品の交換・補充

## 芝刈刃の取りはずし方・取り付け方

**⚠ 警告**

点検、整備、芝刈刃の交換の際は、必ず電源を切り、本製品よりバッテリを抜いてください。
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

必ず芝刈刃が止まっていることを確認してから行ってください。
・ けがの恐れがあります。

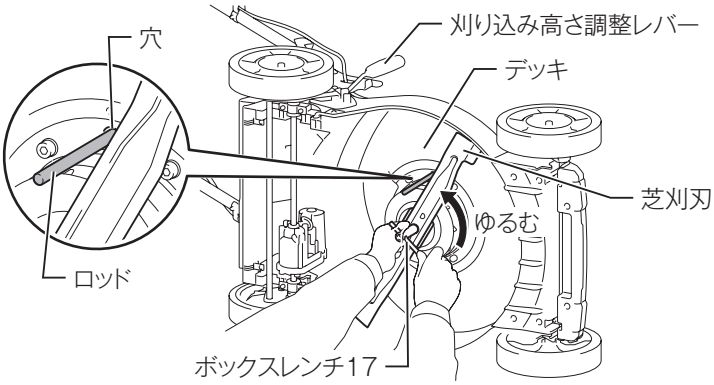
点検、整備、芝刈刃の交換の際には、手袋を着用してください。
・ けがの恐れがあります。

### ■ 取りはずし方

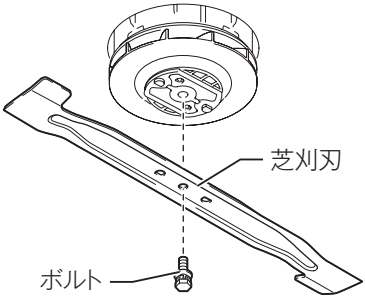
**1.** 刈り込み高さ調整レバーが上になるように倒します。

**2.** デッキの穴に付属のロッドを挿し込み、芝刈刃を固定します。

**3.** 付属のボックスレンチ 17 を使用してボルトを左に回してゆるめます。

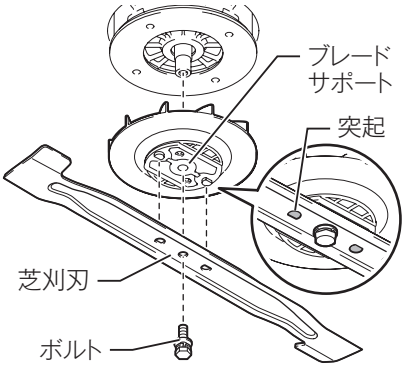


**4.** ボルトと芝刈刃を取りはずします。




## ■ 取り付け方

・ 芝刈刃の取り付けは、芝刈刃の取りはずし方と逆の手順で組み付けます。ブレードサポートの突起と芝刈刃の穴が合うように組み付け、付属のボックスレンチ 17 を使用してボルトを締め付けます。
ボルトの締め付けトルク：19 - 29 N·m（参考値）




| | |
|---|---|
| 注 | ・芝刈刃の取り付け、取りはずしの際は、付属の工具を使用してください。<br>・芝刈刃の取り付け後にデッキの穴からロッドを取りはずしてください。 |

# 故障かな？と思ったら

## トラブルシューティング

| 症状 | 原因 | 対処 |
|---|---|---|
| 電源が入らない。 | バッテリが入っていない。 | 充電されたバッテリを差し込んでください。 |
| | バッテリの故障。 | 正常なバッテリに交換してください。 |
| 芝刈刃の回転が低い。 | バッテリ残容量が少ない。 | バッテリを充電する。または、充電されたバッテリに交換してください。 |
| | 回転伝達部の故障。 | 修理をお申し付けください。 |
| 芝刈刃が回転しない。／少し使用すると回転が止まってしまう。 | バッテリ残容量が少ない。 | バッテリを充電する。または、充電されたバッテリに交換してください。 |
| | 刈り込み高さ設定が低い。 | 刈り込み高さを高くしてください。 |
| | 枝などの異物が芝刈刃にからまっている。または、刈った芝が本製品内につまっている。 | 異物を取り除いてください。 |
| | 回転伝達部の故障。 | 修理をお申し付けください。 |
| 異常な振動。 | 芝刈刃が割れたり、欠けている。 | 新品の芝刈刃に交換してください。 |
| | 芝刈刃を固定するボルトがゆるんでいる。 | 取扱説明書に従って芝刈刃を正しく取り付けてください。 |

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

**症状**

- 本製品が停止する
- 始動しない

**原因**

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

**解消方法**

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 31 ページ参照。

## ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、本製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881H77C0
IWT